

＝平成30年度早川南小学校だより＝

はるき



平成31年3月19日

No.49

校長 坂野修一

明日は卒業式…



6年生の教室の前のカウントダウンカレンダーが、「卒業まであと1日」となりました。いよいよ明日、5人の6年生の卒業式を迎えます。これまで過ごしてきた学び舎、早川南小学校ともお別れです。中学校という新しい世界へ羽ばたいていく6年生は、今日の一日をどのように過ごしたのでしょうか？まとまりのある仲の良い5人のことです。通常日としては最後の一日を、さぞかし楽しく有意義に過ごしたことでしょう。改めて、6年生の保護者の皆様、明日のお子様の卒業、本当におめでとうございます。私は、明日の卒業式では、「はなむけの言葉」として7～8分の時間をいただいています。子どもたちへの「はなむけの言葉」が中心になります。しかし、明日の卒業に際し、保護者の皆様にも伝えたいことがあるので、この紙面を借りて伝えることとします。

お子様の誕生から今日まで、しっかりと愛情を注がれ育てられたことと思います。また、様々な思い出が走馬燈のように蘇ってくるでしょう。しかし、その道のりは決して平坦でなく、様々ご苦労があったことと拝察いたします。本当にこれまでお疲れ様でした。

お子様をお預かりして6年間、早川南小の教職員は、大事なお子様の教育に力を注いでまいりました。とはいえ、十分に伝えられたかどうかはわかりませんが、大過なくこれまで指導ができたということでお許しただけならと思います。

5人の子どもたちは、心も体も大きく成長し、たくさんのお話を学び経験し、いろいろなことができるようになってきました。自分で気づき、考え、判断し、表現する力や行動する力、人を思いやる心、様々な社会性が身についた素晴らしい5人の子どもたちです。明日の卒業式では、お子様の成長された姿を目に焼き付けてほしいと思います。

思春期を迎え、ますます多感な時期を迎えます。「半分大人で半分子ども」なんていう言葉で例えられもします。まだまだ親の支援がなくてはなりません。これからもお子様に常に寄り添いながら、手を引き、背中を押し、声をかけてあげてください。まだまだ子育ては続きます…。そして、これからの一年一年は、どんどん加速していきます…。

これまでの本校の教育に対しまして、深いご理解と多くのご支援を賜りましたことに心より厚くお礼を申し上げます。引き続き下のお子様がお在籍していたり、今後入学して来たりしますね。経験豊かな保護者として、本校の学校教育に深いご理解とご協力を引き続きお願いするとともに、PTA活動のリーダーとしてご活躍をお願いしたいと思います。どうぞよろしくお願いいたします。

在校生の保護者の皆様へ

「卒業式の主役は6年生。在校生は脇役。主役と脇役のどちらももしっかり頑張ってこそその卒業式だよ。在校生はしっかり華を添えて下さい。」こんな趣旨の話を、ずっと在校生に話してきました。呼びかけに歌声に、そして厳粛な態度になるべく、これまでの練習を、本当に頑張っている在校生です。多くの学校では、4年生か3年生あたりから卒業式に参加しますが、小規模校の本校は、1年生から参加します。このことは、とても意義深いと思います。

1年後の自分の姿を思い浮かべながら、明日は在校生も立派に頑張ってくれるものと思います。華を添えてくれるものと思います。保護者の皆様からも、一言声をかけていただけたら幸いです。よろしくお願いいたします。